



～大阪ADHDを考える会のびのびキッズは配慮のいる個性豊かな子ども達の支援を広める会です～

のびのびキッズ 25周年記念シンポジウム

この25年の成果と課題

大阪ADHDを考える会のびのびキッズの活動は今年25周年を迎えました。

ADHDに限らず広く発達障害児者への特性理解と適切な支援を求めて医療、教育、家庭とのトライアングルを軸に活動してきましたが、その間、発達支援法案もできて支援機関も非常に多く立ち上がり、当会の創設当時の手弁当的支援活動からは雲泥の差を感じています。

当会の創設者である安原昭博ドクターのクリニックも法人化し、学習支援やソーシャルスキル、運動教室、言語療法、カウンセリング、更に福祉就労支援にまで事業は進められてきました。まさに生涯支援を旗印に支援活動は広がってきました。

ではかつて願っていた支援は充分なのでしょうか？いえ、何か大切なものを見落としではないのでしょうか？一部では発達障害などないのだと吹聴している団体もあります。発達障害というネーミングは子育てに何をもたらしたのでしょうか？

そんな色々な思いを25周年という節目に教育、医療、家庭に加えて就労支援や学習支援も入れて当会の活動とも日頃から密接に関わってくださっている4人の先生方をシンポジストとしてお迎えしてこの25周年をそれぞれの立場から振り返り今後の指針とできれば幸いです。

- 日時：2024年6月23日（日曜日）14時～16時30分（受付13時30分）
- 場所：ラポールひらかた4階 大研修室（枚方市2丁目1-35枚方市立総合福祉会館）
- 定員：100名
- 申込：nobi2kouza@yahoo.co.jp（会員） / nobi2kouza2@yahoo.co.jp（会員外）
件名「6月23日シンポジウム」とし、氏名（会員の場合は支部名）、連絡先を明記の上、お申込みください。
※会員の方に限り、リモートでの聴講の予定あり（会員MLにて別途ご案内予定）
【定員がありますので必ずお申し込みの上お越しください】

■ 会費：会員・会員外とも無料

— シンポジストご紹介 —

- ◇ 医療…安原昭博医師（医療法人 香博会安原こどもクリニック院長）
- ◇ 教育…伊丹昌一教授（梅花女子大心理学科教授）
- ◇ 就労…稲葉みか氏（株式会社 One Vision 代表取締役）
- ◇ 学習支援…笹野達哉先生（YCC もこもこ香里園南教室 児童発達管理責任者）

